



新春市長対談

# あなたにとって「やさしいまち」とは？

新春にあたり、和田慎司市長と「こまつやさしいまちづくり推進会議」座長で明治大学理工学部建築学科教授の園田眞理子さんに、小松市がめざす「やさしいまちづくり」についてお話しいただきました。

場所：こまつ町家「本村邸」の囲炉裏を囲んで

問い合わせ 市民協働課 ☎24・8217

## すべてが「やさしい」まちに

**市長** もうすぐ冬將軍の到来ですね。  
**園田** 雪は風情がありますが、高齢者や障がい者の生活には大変な面も。  
**市長** 誰もが住みやすいまちになるような色んな視点でまちづくりを考えるようにしています。例えば「交通」。バス利用者が風雨をしのぐための屋根や、到着までの時間が分かるICＴを活用したシステム、子供達の安全を守る通学路の歩道整備を急ぎます。7年後に完成する北陸新幹線小松駅も世界で一番利用者にやさしい駅舎と評価をいただけるよう取り組んでいます。  
**園田** 「やさしい」がコンセプトの駅舎は旅行者も安らぎますね。

## 全国が注目しているまち！こまつ

**市長** 園田さんは小松生まれで、稚小丸、丸内中、小松高校出身ですね。  
**園田** 東京での地方創生会議で、小松市の話題をよく耳にします。グローバル企業のコマツ本社の一部移転、更に地域住民が主体的に取り組んでいる廃寺の再生など。ふるさと小松が地方創生の成功モデルとして紹介されていることを誇らしく感じます。小松の

皆さんはふるさとに自信を持ってよいと思います。  
 こまつやさしいまちづくり推進会議では、地域の皆さんと共に「やさしさ」をキーワードに「こまつから世界に向かって発信できること」を考えていきます。

## 「やさしさ」をまちの価値に

**園田** 北陸新幹線金沢開業以来、金沢には人が押し寄せていますが、これは観光地としての評価に過ぎないと思っています。そうした魅力も重要ですが、それ以上に「やさしさ」を「まちの価値」として重視すべきと考えます。「やさしさ」の意味は案外難しいのですが、小松には「智仁勇」精神をはじめ、文化的な教養や道徳が人々の生活に息づいており、小松こそが豊かな心と文化を育むまちになれるのではと感じています。

**市長** 小松を訪れる皆さんには「人のやさしさ」を感じていただきたいですね。全ての人を「よつこそ」と迎え、いつでも手をお貸しします」と歓迎する気持ち、私達は心に抱えています。表面は穏やかですが、心には熱い想いを抱いている方々ばかりです。そうした方々がまちの価値を高めてくれます。

## 小松流のおもてなし

### 「親身」「共に」

**市長** 園田さんの専門は建築学ですね。人にやさしい建物として、サイエンスヒルズや曳山を展示してある「みよつさ」をご覧になっていただきたいと思います。建物のデザインだけでなく、来館者への「親身になったおもてなし」を心掛けています。例えば、子供や車いすの方などに配慮した低い目線での展示や、文字が読めない人でも分かりやすい絵や図による説明、そして何よりもスタッフの温かい声かけです。

**園田** 小松の町家や寺社など古い建物にも見るべきものがたくさんあります。物理的な段差も、周りの方々の支えがあれば乗り越えられます。

**市長** これまで市民共創でまちに花を植え、美化を進めてきました。車の運転マナーアップやあいさつ運動にも取り組み「おもてなし力」は確実に上がっています。訪れた誰もが楽しく笑顔になれるまちは、おのずと住んでいる人達にもやさしいまちになっていることでしょう。

## 「あなた」の出番です

**園田** 推進会議では、単に福祉という考えではなく、みんなの協力が

互助に関する意見が多く出ました。例えば「公民館カフェなどを地区単位で設立して地域みんなで支える」という案。「ひとにやさしいまち」として、人が集まる場は大変重要で

**市長** そこに行ってみたいと感じる雰囲気作りも大切です。「公民館」と聞くと、何だか堅いイメージを持つ人もいるのではないのでしょうか。もっと親しみを持てる、分かりやすい言葉に換えて使いたいですね。生涯学習の担当課の名前を「はつらつ学習課」に変えました。ゼビシアの方、市民の皆さんにはアクティブに提案、提言、そして行動してほしいと願っています。

**園田** 人生100年、元気に健やかに、生涯現役でありたいですね(笑)。

## 誇れる助け合いのきずな

**園田** 他と比べても、小松には優れた特徴があります。公民館が各地域にあり、これだけ充実している都市は珍しいです。

**市長** そうですね。お寺や神社の掃除などはもちろん、文化祭などを盛大に開催している町内会が多いです。みんなで準備をして「後弁当」をする。いつも何かに取り組んでいます。「わがまち防犯隊」は全小学校区にあり、

## ひと・まち・地球へのやさしさ

**園田** どんな課題があっても、社会全体が横つなぎで連携すれば解決できると思っています。

5年前には、自主防災組織が全246町に組織されました。  
 また、町内で山林管理をしている林産組合が50団体以上もあって、このような助け合いの絆が失われずに存在していること自体が小松の強みです。こんなまちは全国を見てもそうありません。

例えばごみ問題。デンマークのある町では、新聞紙や瓶などを回収するクリーンセンターがあって、住民がごみを持ち寄り、そこで出来た堆肥を持ち帰って利用しています。ごみ問題を地域交流や環境教育に役立て、資源の「循環」が体感できます。まさに社会が連携した「地球にやさしい取り組み」です。私達には未来のまちを創り出す責任があります。ごみも「護美」と書くのと、汚いものではなくて美しさを護るものになります。発想の転換です。

**市長** 小松市には白山や木場潟、苔の里など世界的にも誇れる美しい自然環境があります。この環境保護のために、市民の温かい手が支えてく

## PICKUP 「みんなにやさしいまち」をめざして

日常的に不特定多数の人が利用する民間施設などを対象に、トイレや駐車場の整備費用を補助します。

### ◎トイレ等整備事業補助金

**補助対象** 和便器から洋便器への取り替え、洋便器の新設・増設など

**補助率** 2/3以内(上限40万円)

**そのほか** まちなかインフォメーションスポット登録が必要

### ◎駐車スペース整備事業補助金

**補助対象** いしかわ支え合い駐車場制度に対応するための整備(線引きや看板設置など)

**補助率** 1/2以内(上限10万円)

問い合わせ 市民協働課 ☎24・8217

